

# 令和4年度 消防長「政策宣言」中間報告

消防長 竹内 秀樹

## ○ 令和4年度重要事業

事業名	社会情勢等の変化に対応した防火対策の推進
目標	<p>市内で高齢者宅からの火災が相次いだことから、高齢者への住宅防火対策について、老人会、100歳体操等を活用するなど、機会をとらえて効果的に啓発します。</p> <p>また、高齢者人口の増加に伴い社会福祉施設の増加が予想されることから、社会福祉施設等における避難訓練・査察により防火安全性の向上を図ります。</p>
進捗状況	<p>高齢者への火災予防普及啓発を、高齢者が集う100歳体操などのイベントと合わせて行いました。</p> <p>また、社会福祉施設で夜間に対応した避難訓練を行い、施設職員と災害時の手順を確認し、安全性の向上に努めました。</p>
今後の対応	<p>引き続き、機会を捉え高齢者の方々に防火指導を行うとともに、施設を対象とした消防訓練を火災予防運動期間中に実施し、施設職員との更なる連携を図ります。</p>

事業名	救命率の向上
目標	<p>救急救命士を指導する立場の人材を養成し、救急教育計画に基づく訓練、学習を行い、知識・技能の維持・向上を図り、より質の高い救急業務を実施します。</p> <p>また、119番受付時の応急手当の口頭指導やドクターヘリの要請を的確に判断し、救命率向上に努めます。</p>
進捗状況	<p>救急救命士を指導する指導救命士を1名養成し、2名体制としました。</p> <p>また、改定した救急教育計画に基づき、訓練、研修を実施し、救急隊員、通信司令員の更なる知識、技能の向上を図りました。</p> <p>救急業務においても、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも救命活動を的確に実施できました。</p>
今後の対応	<p>引き続き救急教育計画に基づき多数の傷病者への対応訓練を行います。また、市民向けに応急手当の動画を公開し救命率の向上に努めます。</p>

事業名	大規模災害への対応力の強化
目標	<p>災害発生時に欠かすことのできない消防団員の加入促進及び消防団員の活動環境整備に努めます。</p> <p>また、近年多発する地震や集中豪雨等の自然災害に対し、消防職団員への研修を実施し、消防としての対応力の向上を図ります。</p>
進捗状況	<p>自主防災訓練等で市民に対し消防団の重要性を説明し、加入への理解促進を図りました。</p> <p>また、団員の活動環境整備については、防火ヘルメット、防火衣を更新して安全性を高めており、分団屯所の改修、整備も合わせて進めています。</p>
今後の対応	<p>今後も消防団の重要性・イメージアップのための活動や働きかけを行い、団員の加入促進に努めます。</p> <p>大規模災害への対応についても、消防団協力事業所の拡充し、協力体制の強化を図ります。</p> <p>また、消防職団員に災害発生時の対応について研修を行い、対応力の向上に努めます。</p>